

奥羽大会

[出場校の横顔]

岩手大会は、春以来の不振を見事に吹き飛ばし初の優勝に輝いた。闘将・田中捕手を中心にチームワークが良く、一戦必勝で勝利をものにしてきた若いチームである。弱体視されていた投手陣は、村川投手の飛躍的な成長で十分期待出来そうである。インコースに投げ込む重い速球と落差の有るドロップは想像以上に威力が有り、心配された連投にも十分対応出来る体力も整った様である。ただ経験に乏しいので単調になる事が心配である。控えの松館投手はストレート・シュートを武器に待機しているが力不足の感じがする。秋田高・秋田商業・八戸高の強力打線と対等に戦うためには村川投手の奮起に期待したい。捕手・田中は、主将として攻守共に堅実な力量を持ち、特に粘り強いファイトは文字どおり大黒柱である。内外野の守備はまだ十分とは言えず、県大会では外野の守備範囲が狭いため苦戦も味わった様だ。内野は、板垣三塁手・小泉遊撃手は無難なプレーで軽快な動きを見せている。平野二塁手・名久井一塁手は左右の守備範囲に不安が有るが確実な守備は安心である。田口中堅手を中心とする外野陣は若干不安であるが県大会の好守備を持続できれば期待できる。巧みな試合運びと徹底した短打主義は全員に行き渡り、ムラの無い打線形成は勝利への大きな原動力に成っている。田口・田中・小泉のクリーンアップも頼もしいが 沢野・佐々木といった中堅どころもしぶとい当たりを見せており活躍が期待される。特筆する選手はいないが 堅実な実力とチームワークが身上である。県大会で見たファイトを持続して堂々とコマを進めてもらいたい。

● 1回戦 7/31 盛岡市球場 (主) 秋 (塁) 村松武、菊池、諷

秋田高校 0 0 0 0 0 0
 岩手高校 0 1 0 0 2 1 0 0 X 4 A (2B) 佐々木、柊

(秋) 中川、佐々木、男鹿谷 (岩) 柊、一冲

[秋田高校]	打	得	安	犠	振	四	盗	失	[岩手高校]	打	得	安	犠	振	四	盗	失
⑦ 北村	1	0	1	0	3	2	0	1	⑤ 板垣	5	0	2	0	0	0	0	0
⑥ 大淵	3	0	0	1	0	0	1	2	③ 名久井	1	0	0	1	2	0	1	0
④ 清水	3	0	0	0	1	1	0	0	⑧ 田口	3	1	0	0	1	0	0	0
⑨ 小西	4	0	0	0	0	0	1	0	② 田中	4	0	0	0	0	0	2	1
② 男鹿谷	3	0	0	0	1	0	0	0	⑥ 小泉	4	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 伊藤	2	0	0	0	1	0	0	0	⑨ 沢野	4	0	0	0	0	0	1	0
⑤ 小野岡	2	0	0	0	1	0	0	1	⑦ 佐々木	2	2	1	0	2	0	0	0
③ 佐々木孝	3	0	1	0	0	0	0	0	① 村川	3	0	1	1	0	0	0	0
① 中川	2	0	0	0	0	0	0	1	④ 平野	3	1	0	0	1	0	1	0
1 佐々木信	1	0	0	0	0	0	0	0	計	29	4	4	2	6	0	5	1
計	24	0	2	1	7	3	2	5	(残)	9	(併)	4					
(残)	5	(併)	0														

岩手高校 強豪秋田高校を破る
 [島津主審評] 岩手高は攻守にバランスが取れており 緩急を駆使するエース村川投手の好投と打撃陣の奮起で勝利をものにした。2回裏岩手高は、佐々木四球・村川の二塁打で先取点を上げた。五回、六回にも秋田高内野陣の乱れに乗じて安打・バントをからめて3点を加えた。秋田高は5回・無死一二塁の得点機に得点出来ず完封負けを喫した。

[試合経過]

- ① (秋) 北村四球・バントで二進、二者凡退。(岩) 板垣二ゴロ、名久井・四球、二者凡退。
- ② (秋) 男鹿谷、伊藤捕邪飛、小野岡遊ゴロ併殺。(岩) 二者凡退、佐々木四球、村川左越二塁打で佐々木生還、平野凡退。(計 1点)
- ③ (秋) 二者凡退、木村四球、大淵凡退。(岩) 板垣三ゴロ失で二進、名久井・四球、田口捕邪飛、田中三振、小泉遊ゴロ名久井二封。
- ④ (秋) 村川投手の緩急にタイミング合わず。三者凡退。(岩) 三者凡退。
- ⑤ (秋) 伊藤・小野岡四球で一二塁、佐々木二ゴロ・4-6-3の併殺、伊藤三進したが中川投ドロ。(岩) 平野投ドロで一塁に生きる、投手のWPで二進、板垣の左前安打で平野三進、名久井のスライズで平野生還、田口四球、田中三ゴロで板垣三封、小泉遊ゴロ・大淵が悪投・田口生還、沢野凡退。(計 2 計3点)
- ⑥ (秋) 北村内野安打、大淵・清水・小西三者凡退。(岩) 佐々木二塁打、バントで佐々木三進、平野四球、板垣の内野安打で佐々木生還し 計4点。田口・名久井凡退。(計 1 計4点)
- ⑦ (秋) 三者凡退。(岩) 三者凡退。
- ⑧ (秋) 佐々木中前安打、中川二ゴロ・4-6-3で併殺。(岩) 佐々木四球、バントで佐々木二進、平野・板垣凡退。
- ⑨ (秋) 清水死球・二盗塁、小西・男鹿谷凡退、清水離塁大きく佐々木右翼手からの返球で刺された。

●準決勝戦 盛岡市営球場 (主審) 島津 (塁審) 長沢常、藤原良、藤原茂

一戸高校 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1 (2B) 金一
 岩手高校 0 0 1 1 2 0 0 0 X 4 A (2B) 板垣、牧井
 (-) 峠・夏井 (岩) 柳川・中

[一戸高校] 打得安犠四盗振失		[岩手高校] 打得安犠四盗振失	
⑥ 里	3 0 0 0 1 0 0 1	⑤ 板垣	4 1 1 0 1 1 0 0
⑨ 北館	4 0 1 0 0 0 2 0	③ 名久井	4 1 1 0 1 1 1 0
⑤ 根反	3 1 1 0 1 1 0 0	⑧ 田口	2 0 0 0 2 0 0 0
③ 浅利	4 0 0 0 0 0 1 0	② 田中	3 0 0 0 1 0 0 0
① 山岸	4 0 1 0 0 0 0 0	⑥ 小泉	4 0 1 0 0 0 0 0
⑦ 佐々木	3 0 0 0 0 0 1 1	⑨ 沢野	2 1 0 0 2 0 1 0
PH大志田	1 0 0 0 0 0 0 0	⑦ 佐々木	3 0 1 1 0 0 0 0
④ 三浦	3 0 0 0 0 0 1 0	① 村川	4 0 2 0 0 0 0 0
② 夏井	3 0 0 0 0 0 2 0	④ 平野	4 1 1 0 0 0 0 0
⑧ 金田一	3 0 1 0 0 0 0 0	計	30 4 7 1 7 2 2 0
計	31 1 4 0 2 1 7 2		
(残) 5	(ボーク) 山岸	(残) 10	

岩手高校 一戸高校を再び撃破
 [島津主審評] 一戸高は、主戦山岸投手が全くの不調で四球を乱発し、苦しい試合を強いられた。岩手高村川投手はコントロールは良かったが余りにも好球を投げすぎた。一戸高の打線が平常であったら案外苦戦を招いたかもしれない。一戸高は闘志を表に出し果敢に岩手高に立ち向かった。しかし打棒が空回りし、野手の思わぬ失策も手伝って岩手高に降った。岩手高は攻守ともにまとまりがあり、余裕を持った戦いであった。特に選球ガンが良くチャンスに結びつけていた。これは試合運びのうまさ物語っている。

[試合経過]

- ① (-) 里投ゴロ、北館右前安打、根反捕邪飛、麻利遊ゴロ・北館二封。(岩) 板垣三ゴロ、名久井投飛、田口四球、田中二飛。
- ② (-) 山岸二ゴロ、佐々木三邪飛、三浦右飛。(岩) 小泉遊ゴロ、沢野三振、佐々木捕ゴロ。
- ③ (-) 夏井一邪飛、金田一二ゴロ、里一ゴロ。(岩) 村川中前安打、平野内野安打、板垣遊飛、名久井投ゴロ・村川本封、田口・田中四球で押し出し・平野生還、小泉二ゴロ、(岩・1)
- ④ (-) 北館一邪飛、根反四球・二盗、浅利中飛、山口右前安打・根反生還、佐々木三振。(一戸・得点1)
 (岩) 沢野四球、佐々木の犠打で沢野二進、村川中前安打で沢野生還、村川三塁に走り外野からの辺球で刺される、平野右飛。(岩・1 計2点)
- ⑤ (-) 三浦・夏井三振、金田一ゴロ。(岩) 板垣左翼フェンス上端に当たる二塁打、名久井左中間を破る二塁打・板垣生還。田口中飛、田中三ゴロ、小泉左前安打で名久井生還、沢野一飛。(岩・2 計4点)
- ⑥ (-) 里四球、北館三振、根反左前安打、浅利三振、山岸投ゴロ。(岩) 佐々木三遊間安打、村川投ゴで佐々木二封、平野遊ゴロ、板垣右翼前のゴロで平野二封、板垣二盗、名久井四球、田口中飛。
- ⑦ (-) 佐々木左飛、三浦一邪飛、夏井捕飛。(岩) 田中三直、小泉捕飛、沢野四球、佐々木二ゴロ。
- ⑧ (-) 金田一右中間二塁打、里三ゴロで金田一三塁で刺される、北館三振、根反三ゴロ。(岩) 村川左飛、平野三ゴロ、板垣四球、名久井三振。
- ⑨ (-) 浅利二飛、山岸中飛、代打大須田三ゴロ。

岩手高校 八戸高校降ろし甲子園え 野球部創設九年目の栄冠

● 決勝戦 盛岡市営球場 (主審) 鈴木 (塁審) 島津 齋藤 長沢

八戸高校	0 0 1	0 0 0	2 0 0	3	(2B) 榎
岩手高校	0 1 0	2 0 2	0 0 X	5 A	(3B) 榎
	(八) 嶋-岩	(岩) 榎-中			

チーム力の結集

【村松審判長評】 岩手高校の勝利は、全くチーム全体の努力と精進がもたらしたものである。これからの野球は、投手だけに頼るものであつてはならず、攻守ともに堅実な安定性のうちに形成されたものでなければ成らない。一回戦で敗れた秋田勢も相当の実力を持っていたが、岩手勢の盛り上がる闘志は今日の輝く勝利をもたらした。この闘志とネバリを持続して甲子園大会に堂々とコマを進めてもらいたい。

【八戸高校】 打得安犠四盗振失		【岩手高校】 打得安犠四盗振失	
⑥ 月 館	4 1 1 0 0 1 0 2	⑤ 板 垣	4 0 0 0 0 0 0 0
② 岩 館	4 1 2 0 0 0 0 0	③ 名久井	4 0 2 0 0 0 1 1
⑤ 中 村	4 0 1 0 0 0 1 0	⑧ 田 口	3 0 0 1 0 0 1 0
③ 福 島	4 0 0 0 0 0 0 0	② 田 中	4 1 1 0 0 0 0 0
① 中 島	3 0 1 0 1 0 0 1	⑥ 小 泉	4 3 2 0 0 0 0 0
⑨ 高 沢	3 0 0 1 0 0 0 0	⑨ 沢 野	3 1 2 1 0 0 0 0
⑧ 田 中	3 0 1 0 1 0 0 0	⑦ 佐々木	2 0 0 1 1 0 0 0
④ 畑 内	4 1 1 0 0 0 1 0	① 村 川	4 0 3 0 0 0 0 1
⑦ 石 沢	3 0 0 0 1 0 0 0	④ 平 野	3 0 0 0 1 0 0 1
計	32 3 7 1 3 1 2 3	計	31 5 10 3 2 0 2 3
(残) 6	(併) 3	(残) 7	(併) 0

短打戦法の勝利

【鈴木主審評】

岩手高の打線は、むらが無く好球を見逃さず打ち込んだ事と村川投手の好投とが重なり勝利をものにした。村川投手は鋭いカーブとクロスに入るストレートでピンチを切り抜けた投球は称賛に価する。八戸高は暴走が大きく響き、エース中島投手も対盛岡工業に見せた注意力が無く岩手高の短打戦法に痛打された。実力は互角であった、岩手高は地元であり伸び伸びとプレーし好運を呼び寄せた。反面八戸高は勝運に恵まれなかったと言える。岩手高の甲子園での活躍を心から期待する。※ 鈴木主審は、東京大学の現役審判員でした。

【試合経過】

- ①八戸高、月館遊ゴロ・一塁エラーで出塁、岩館遊ゴロ・月館二封、中村中飛、福島一飛。
岩手高、板垣遊失で出塁、名久井三振、田口ゴロ、田中左飛。
- ②八戸高、中島右翼線ギリギリの二塁打、高沢三ゴロ、畑内三振。
岩手高、小泉左前安打、沢野のバントで二進、佐々木四球、村川左翼線安打で小泉生還・一死二三塁、平野スクイズ失敗・併殺。●岩手高 得点1
- ③八戸高、石沢投ゴロ、月館大きな左飛、岩館左前安打、中村左中間二塁打・岩館生還、福島投手強襲安打、中村オーバーランで三本間峽殺。●八戸高 得点1
岩手高、板垣左飛、名久井中前安打、田口投ゴロで併殺。
- ④八戸高、中島四球・高沢のバントで二進、田中四球で一二塁、二塁ランナー中島・田中捕手の二塁牽制に刺される。畑内遊ゴロで田中二封。
岩手高、田中左前安打、小泉投ゴロFcで無死一二塁、沢野三ゴロ・走者二三進、佐々木中飛犠打で田中生還、村川中前安打で小泉生還、平野中飛。●岩手高 2 計3
- ⑤八戸高、石沢右中間の飛球・沢野背走し好捕、月館内野安打、岩館中飛、中村三振。
岩手高、板垣三ゴロ、名久井中飛、田口三振。
- ⑥八戸高、福島二飛、中島遊ゴロ、高沢一邪飛。
岩手高、田中三邪飛、小泉中前安打、沢野三遊間安打、佐々木中飛、村川三塁打で走者一掃・小泉・沢野生還、平野四球で二死一三塁、板垣ライト前に高い飛球・高沢スライディングキャッチ。●岩手高 2 計5
- ⑦八戸高、田中内野安打、畑内中前安打で田中三塁を狙い田口の好辺球で三塁で刺殺、石沢四球、月館遊ゴロで石沢二封、月館二盗、岩館右前安打で畑内・月館生還、この間・岩間二盗を試み捕手・田中からの送球で二塁で刺される。●八戸高 2 計3
岩手高、名久井左前安打、田口送りバントで名久井二進飛、小泉中飛。
- ⑧八戸高、中村三ゴロ、福島二ゴロ失で出塁、中島投ゴロ・福島二封、高沢遊ゴロで中島二封。
岩手高、沢野右前安打、佐々木投失で無死一二塁、村川遊飛、平野遊ゴロ6-4-3の併殺。
- ⑨八戸高、田中捕飛、畑内二ゴロ、石沢二ゴロ。

第37回全国高等学校野球選手権大会・奥羽大会は、岩手高校の優勝で幕を閉じた。

岩手高校は、昭和21年に創部、九年目にして「甲子園出場」を射止めた。

閉会式は、岩手高校優勝の興奮もさめやらぬ午後3時から盛岡市宮球場で行われた。

晴の大優勝旗は万雷の拍手の内に 樋口県高体連会長から岩手高・田中主将に手渡された。

樋口県高体連会長・鈴木朝日新聞社盛岡支局長・赤堀県教育長などから

「炎天下にもかかわらず終始高校野球の名に恥じないプレーを見せた事は誠に嬉しい事だ。

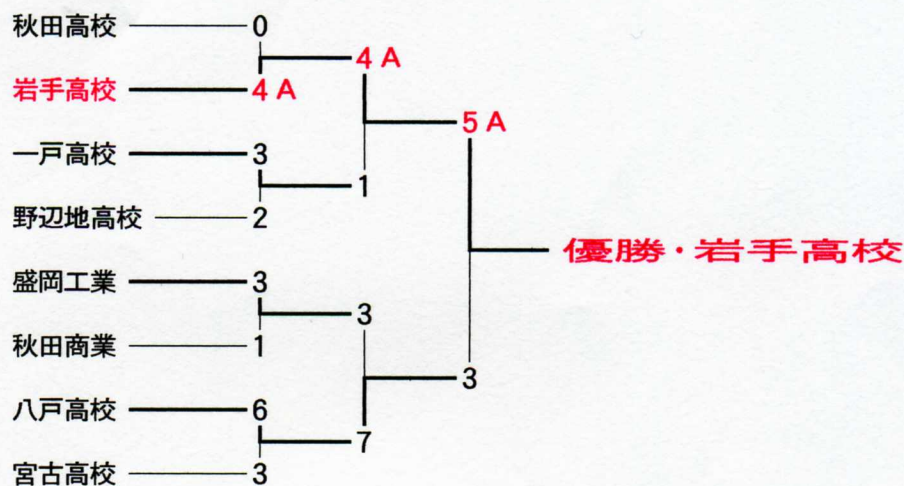
晴れて甲子園出場に当たって 大いに活躍されんことを切望する」と祝詞と激励の言葉があった。

岩手高校 田中主将から「郷土に誇りを持ち 期待に報いるよう正々堂々戦ってくる」と宣誓がなされた。

奥羽大会組合せ表

・7月31日~8月2日・盛岡市宮球場

- 岩手県代表 岩手高校・宮古高校・一戸高校・盛岡工業
- 青森県代表 八戸高校・野辺地高校
- 秋田県代表 秋田高校・秋田商業



●登録メンバー

[部長]	戸 嶋 正 夫 (岩手高校)	[監督]	川 村 昌 司 (岩手高校)		
[主将]	田 中 義 男・3年生(捕手)	小田島 基 敦・3年生(マネージャー)	村 井 慶 一 2年生(内野)		
	板 垣 隆 夫・3年生(二塁)	村 川 吉兵衛・2年生(投手)	福 田 要 1年生(外野)		
	小 泉 務・3年生(遊撃)	沢 野 重 安・2年生(右翼)	杉 村 衛 1年生(捕手)		
	田 口 節 雄・3年生(中野)	名久井 光 文・2年生(左翼)	千 田 昭 則 1年生(外野)		
	平 野 喜 三・3年生(二塁)	佐々木 英 雄・2年生(右翼)	松 館 健 吾 1年生(投手)		

私の思い出

奥羽大会の勝利は、正に「晴天の霹靂」。スタンドの歓喜と興奮は想像を絶するものが有りました。観衆の中に父(蛛膜下出血で入院中)を見た時は本当にびっくりしました。後援会が用意してくれたジープ、トラックに、戸嶋部長・川村監督・選手が分乗、先輩・父兄・生徒が後に続き、校歌・応援歌を歌いながらの市内パレードは学校まで続いたのです。校庭に近所の方々も加わり祝勝の報告が行われました。後援会主催の祝勝会も行われ、私達の活躍を祝ってくれました。選手の自宅でも、近所の方々主催の祝勝会が行われた様であります。8月4日迄軽い練習が行われ、報道関係・後援会・OB・父兄の方々が沢山来て賑々しく行われました。

8月5日・出発の日、駅前で大変な壮行会が行われました。

山中校長から「期待にそむかず立派な成績をあげ、生活においても他の模範になるよう行動してほしい」、川村助役・樋口県高野連会長から「最善をつくして頑張って下さい」と壮行の辞があり、戸嶋部長・田中主将から「奥羽代表の名譽にかけて立派に戦います」と力強い挨拶があって閉会、応援団・父兄の「バンザイ・バンザイ」岩高ガンバレの声援と爆竹や五彩のテープに見送られ勇躍出発した。(岩手県から)

プラットホームは大変な混雑、午後7時10分発大阪に向かったのです。部長・監督・選手以外に、日野岳浩(岩手高校)・中村嘉明(岩手高校)・佐々木禎一(旧10回生・盛岡市議会議員)・板内松四郎(旧10回生・山本県国會議員)・久保田了康(旧14回生・岩手医師)の方々が同伴されました。6日の早朝上野駅に到着し、午前9時・東京駅から特急「つばめ」で大阪に向かった。(宿泊先は西宮市池田町32・三福旅館・電話 808番)でした。